

「名刀」の言葉で どんな刀を連想しますか？



太刀 銘 景則 鎌倉時代 江戸時代 個人蔵
拵上から／毛抜形太刀拵 糸巻太刀拵 尻鞘

名

刀」の言葉で最初に思いつくのは、有名武将が所持した刀でしょうか。まず越後の龍こと戦国時代の武将上杉謙信が所持した火車切を紹介しましょう。(左) 作者は南北朝時代に相模国で活躍した広光。刀身全体に焼

焼という刃文を生み出したことでも知られています。付属の拵は一般的な同時代の拵と比べ、鞘尻が細長く柄の頭が張った形です。これは上杉家伝来の拵にみられる特徴で、使用時の工夫でしょうか。拵の金具には龍や獅子、牡丹などの絢爛豪華な文様ではなく、野の草花をモチーフとしたものを取り合わせており、軍神と呼ばれた謙信のイメージとは異なる素朴な人柄を想像させます。

次に、名刀に三口の豪華な拵が付属する例として、仙台藩伊達家に伝来した景則をご覧ください。

名刀ズラリ 2025.1.7[火]ー2.16[日]

(左) 景則は鎌倉時代初期の古備前の名工で、腰から大きく反り小切先に結ぶ姿が優美です。同家の記録では「肯山公(四代綱村)御指」とあり、毛抜形太刀拵、糸巻太刀拵、尻鞘の三口の拵が付属しています。儀式に参加する、狩りに出るなど、その時々に対応しい拵に納めて、お気に入りの景則をいつも腰にしたかったのだろうかと思像もふくらみます。

最後は、刃長が78cmを超える長寸の太刀です。茎に「一」とあるのは備前一文字派の作です。刀剣は研磨するほど刀身が減っていきますが、本作は打ちあがった当時の姿をよくとどめています。本作の来歴は失われ、長らく個人コレクターが秘蔵されていました。みどころはそれぞれ、ズラリと並んだ名刀をお楽しみください。

(学芸グループ主任 志田理子)

太刀 銘 一 鎌倉時代 個人蔵



小さきことは 美しき 一手のひらにのる 雛道具

江戸の「ぜいたく屋」
—七澤屋と武蔵屋の極小雛飾り
2025.2.22[土]ー4.6[日]



牡丹唐草文蒔絵台付切子瓶 七澤屋製 江戸時代後期～明治時代初期 川内由美子コレクション

細

緻な蒔絵をほどこした手のひらに乗るような小さな雛道具。今年の雛展では、江戸時代後期に流行した極小雛道具を扱った名店「七澤屋」と「武蔵屋」に焦点をあて、あらためてその魅力に迫ります。

七澤屋は、上野池之端に店を構えた人形玩具店で、細緻な極小玩具を扱いました。明治6年(1873)のウィーン万国博覧会にも多くの人形・玩具を出品し有功賞牌を受賞していますが、その後廃業したとされています。武蔵屋は、浅草に店を構えた人形玩具店で、多くの職人を擁して高級玩具類を製作販売しました。文政9年(1826)の創業以来三代まで繁盛しましたが、四代の時に戦災にあい廃業しました。両店ともに「贅沢屋」と称されたといい、その高級感あふれる玩具類は江戸の人々を魅了してきました。

七澤屋の雛道具は、造りの確かさと、「大」の字の形をした牡丹の花と唐草文の細緻な蒔絵が特徴で

す。また、とても多くの種類の雛道具を扱っていて、財を投じて七澤屋ならではの雛飾りを揃えることもステイタスであったでしょう。どんなに小さくても柱や天板はしっかり造られ、引き出しに収められた品々や和装本の中身など、目を張る造りが七澤屋の特徴です。

武蔵屋の雛道具は、華奢な造りに絵画的な意匠の蒔絵がほどこされたものが多く、その雅な趣向は雛の世界を彩るにふさわしいと人気を博しました。

本展では、雛道具研究家・川内由美子コレクションから七澤屋、武蔵屋の作品を中心とした極小雛飾りを、また幕末明治の生糸商「天下の糸平」こと田中家旧蔵の武蔵屋の雛飾り一式(長野県立歴史館所蔵)を展示します。今なお私たちの心をとらえる「小さきものの美しさ」にぜひ触れてみてください。

(館長 坪井則子)



田中家旧蔵
(桐鳳凰図蒔絵牛車)
武蔵屋製
明治時代後期
長野県立歴史館蔵

左から／
田中家旧蔵
(花鳥図蒔絵書棚・
厨子棚・黒棚)
武蔵屋製
明治時代後期
長野県立歴史館蔵

ミュージアムショップ

佐野美術館オリジナル商品のご紹介

「松井江」原寸大
刀剣クッション
4,400円

オリジナル
刺繍ソックス 全6種
各1,430円

印傳のような紙の御朱印帳
(蜻蛉切公開記念)
1,760円

「名刀ズラリ」展に合わせ
上杉謙信ゆかりの
脇指「火車切」の
新作グッズも登場します。
お楽しみに!

「江戸のぜいたく屋」展 おすすめ商品

松栄堂
京線香
こころか 5種
2,200円

ケイス
絵手ぬぐい
各1,320円

石川紙業
ラブランこうさぎびな
1,870円
<https://www.ishikawa-shigyo.com/>

さのびでまなぶ

注目のイベント

※諸事情により
変更や中止の場合があります。

特別鑑賞講座
「佐野美術館の人形たち」

佐野美術館とっておきの人形コレクションから、
普段なかなか目にすることのない人形たちを、
講師の解説と合わせて間近で鑑賞します。



嵯峨人形 犬連れ 江戸時代(18世紀)
前島秀章・久代夫妻コレクション 佐野美術館蔵

日時：3/8(土) 14:00～15:30
講師：林直輝(日本人形文化研究所所長)・
坪井則子(佐野美術館館長)
会場：佐野美術館講堂 定員：20名
参加費：1,100円
※要申込・先着順

特別ギャラリートーク



御酒道具 武蔵屋製
江戸時代後期～明治時代中期 川内由美子コレクション

江戸の「ぜいたく屋」展に出品している川内由
美子氏によるギャラリートークです。七澤屋と
武蔵屋の極小雛飾りの見どころなど盛りだくさ
ん！

日時：3/16(日) 10:30/13:30
講師：川内由美子(雛道具研究家)
会場：佐野美術館2階展示室
※申込不要・聴講無料・入館券をお求めの上、
展示室入り口にお集まりください。

その他のイベント

2025.1-3

名刀ズラリ 会期中

- 1/11(土) 慈雲会茶会
- 2/8(土) 日本刀を持ってみよう

常設展示室

- 月2回程度
仏像解説ボランティアの
ギャラリートーク

江戸の「ぜいたく屋」展 同時展示
静岡ゆかりの工芸作家

2025.2.22[土]—4.6[日]

近年ご寄贈いただいた、伝統工芸作家の作品
を中心に紹介します。

主な出品作品

- 辻完 花籃《りんどう》 平成2年(1990)
 - 大間悠司 栃拭漆象嵌箱
平成10年(1998)
 - 中山ヤスコ 銀金彩匣《星雲》(オルゴール)
平成15年(2003)
 - 成毛進 灰釉皿 平成11年(1999)
 - 九鬼英子 有線七宝筥《冬日和》
平成12年(2000)
- ※作品はすべて佐野美術館蔵



九鬼英子 有線七宝筥《冬日和》
平成12年(2000) 佐野美術館蔵

常設展示室

白隠さん 一禅と書画 【1.7(火)—2.16(日)】

臨済宗の中興の祖とされ、当地に縁の深い
白隠慧鶴禅師(1685-1768)の書画をご紹介します。

主な展示作品

- 布袋図
- 七福神図
- 葦葉達磨図(留守模様)
- 渡唐天神図
- 墨蹟 坐禅和賛

※時代はすべて江戸時代(18世紀) ※作品はすべて佐野美術館蔵



白隠慧鶴《七福神図》
江戸時代(18世紀)
佐野美術館蔵

美濃ゆかりの刀 【2.22(土)—4.6(日)】

南北朝時代から室町時代にかけて、
刀剣の生産地として発展した美濃(岐阜県)ゆかりの刀をご紹介します。



刀 銘 和泉守藤原兼定 石破洪谷木工頭明秀/伊勢山田是作 永正十三年 金象嵌銘 二胴切落
室町時代(1517) 佐野美術館蔵

主な展示作品

- 短刀 無銘 志津 南北朝時代 個人蔵
- 刀 銘 濃州住久勝作 室町時代 佐野美術館蔵
- 刀 銘 和泉守藤原兼定 石破洪谷木工頭明秀/伊勢山田是作 永正十三年 金象嵌銘 二胴切落
室町時代(1517) 佐野美術館蔵
- 刀 銘 兼明/高天神 室町時代 個人蔵

2025年度 佐野美術館
日本刀初心者講座 受講生募集

日本の優れた文化である日本刀についての理解を深め、その見方と心を学びます。

日 程：2025年4月～2026年3月の毎月第1日曜日(全12回・2026年1月のみ12日[月・祝])
10:00～12:00
講 師：住麻紀(元佐野美術館学芸員)
会 場：佐野美術館講堂
対 象：日本刀を初めて勉強する方
資 格：佐野美術館賛助会ミュージッククラブ会員
定 員：10名
受講料：132,000円(年間・税込)



イメージ

※要申込、定員に達し次第募集を締め切ります。
※お申し込み・お問い合わせは佐野美術館「日本刀初心者講座」係まで。

INFORMATION さんしんギャラリー 善

さんしんギャラリー善は、伊豆・県東部の創作活動を支援する目的で、
三島信用金庫100周年記念事業の一環として開設しました。
佐野美術館が運営を委託され、1年間に4本の展覧会を開催します。

2025 春季1 展覧会スケジュール
鈴木安一郎(グラフィックアート)

4/1(火)—15(火)

さんしんギャラリー 善【展覧会開催時のみオープン】
11:00～16:30 木曜休館
〒411-0857 静岡県三島市芝本町12-3
TEL 055-991-0034 <https://www.sanshin-zen.jp/>

2024年 作家蔵



開館時間：10:00～17:00(入館の受付は16:30まで)
休 館 日：木曜日(祝日の場合は開館)/
展示替期間(2/17-2/21、4/7-4/12)/
年末年始(2024.12/23-2025.1/6)

交通案内
JR三島駅南口より
・南へ1.3km左側
・東海バス(4番のりば：N46/47/81 大平車庫行き
※サントムーン経由を除く)で「佐野美術館」下車
・伊豆箱根鉄道に乘換え「三島田町駅」下車徒歩5分
東名沼津I.C.より
・伊豆箱根方面へ8km、三島玉川交差点を左折、
二つ目信号を右折、次の角左折
東名裾野I.C.より
・南へ13km
新東名長泉沼津I.C.より
・伊豆箱根方面へ10km

※駐車場あり。駐車場混雑時には
三島市営駐車場(有料)をご利用ください。